

## 演習ワーク（排泄）その2

### ◆便秘の子どもへの対応

事例：

1歳になる、みさちゃんは、以前から便の回数がほかの子どもよりも少なめだったのですが、卒乳してからはさらに便の回数や量が少なくなり、最近は便秘気味です。

3連休明けの月曜日、「週末では家でも全然うんちが出なくて、今朝も出ていません」という母親の報告とともに、園にやってきたみさちゃんは、お腹がパンパンに張っていて、午前中は食欲もあまりなく、玩具で遊んでいても何となくいつもより機嫌が悪いようです。昼食後、部屋の隅で棚につかまったままじっとして何やらきばっている様子だったので、保育士が「みさちゃん、トイレに行こうか？」と声をかけたところ、無言でいやいやと首を振り、きばるのをやめて、ままごとセットで遊び始めてしまいました。

●みさちゃんの配慮・対応を行う上で、手がかりとなる箇所に下線を引いてみましょう。

●気づいたことをまとめ、この場面のみさちゃんの気持ちを考えてみましょう。

ヒント：きばるのをやめてしまったことから、便意を喪失したと考え、再び便意をもよおすのを待つべきでしょうか。それとも、この機会に一緒にトイレに行き、おまるに座らせてみた方がよいのでしょうか。それぞれのメリットとデメリットについても考えてみましょう。

<この場面でのみさちゃんの気持ち・要求は？>

<みさちゃんのこのような反応を示した理由について、考えられる可能性は？>

( )組 学籍番号( ) 氏名( )

<1歳のみさちゃんが、このような反応を示したことについて、どうとらえる？>

●便秘の子どもに対して、どのような援助や配慮ができるか、具体的に考えてみよう。

<どのような声かけをするか？>

<どのような配慮・工夫をするか？>

<感想>

## ◆家庭でのトイレトレーニング

事例：

2歳0か月のかなちゃんを通う保育所では、1歳10か月頃からおむつからパンツに、おまるからトイレに移行していますが、かなちゃんはなかなかトイレトレーニングが進んでいません。そこで家庭でのトレーニングの進み具合について、保育士が保護者に話を聞いてみたところ、実は家ではトレーニングをしておらず、ずっとおむつで過ごさせていたことがわかりました。以下はその時の母親の会話です。

かなちゃんの母親「そろそろトイレトレーニングができる時期なのかなというのはわかっているんですが、うちにはお兄ちゃんもいるし、お兄ちゃんのおむつも取れたのがすごく遅かったので、まだそんなに焦ってやる必要はないんじゃないかとも思っています。人手に余裕がある家だったらいいんでしょうけど、うちは忙しくてなかなか面倒が見られないので、しょっちゅう「トイレトイレ」と言われるより、おむつを着けていてくれた方が助かるんですよ。まだ使ってないおむつも大量に残っているので、使わないともったいないし……。一度、園にもってくるトレーニングパンツを家ではかせてみたことがあるんですけど、カーペットにおもらしされて大変でした。仕事で疲れているのに、机を動かして、カーペットをはがして、子どもを2人抱えて車でコインランドリーにもって行って……。もう正直こりごりです。だから家でのトイレトレーニングは、少なくともうちでは無理かなと思います。今、かなはいやいや期だし、「トイレに行くよ」って言っても「おむつ替えるから来て」と言っても、「いや」と言ってわざと逃げたりするので。無理に今やらなくても、もう少し物心がつけば、本人もおむつが恥ずかしくなるだろうし、手間暇かけてやらなくても、自然にできるようになるので、それでとりあえずいいかなと思っています」

●かなちゃんの保護者への配慮・対応を行う上で、手がかりとなる箇所に下線を引いてみましょう。

●気づいたことをまとめ、かなちゃんの保護者の気持ちを考えてみましょう。

<この場面でのかなちゃんの保護者の気持ち・困っていることは？>

<かなちゃんの保護者がこのような反応を示した理由について、考えられる可能性は？>

<かなちゃんの保護者を支援する際に、特に配慮したい点は？>

●家庭でのトイレトレーニングに悩む保護者に対して、どのような援助や配慮ができるか、具体的にセリフを考えてみよう。

<どのような声かけをするか？>

<どのような配慮・工夫をするか？>

<感想>